

高田短期大学通信

2013年(平成25年)6月13日 発行 高田短期大学・編集 図書委員会

高田短期大学の教育

学長 栗原 廣海



平成二十五年度がスタートし、約二ヶ月が経過しました。新入生の皆さんも、ようやく90分の授業に慣れ、落ち着いてキャンパスライフを送られていることと思います。学生の皆さんには、短期大学の教育とはなにか、高田短期大学がどのような教育を実施し、どのような人材を育成しようとしているのかについての認識を改めて深め、一人ひとりが将来への目標に向かって主体的な学びをしてほしいと教職員一同願っています。

そこで、本学の教育について改めて述べてみたいと思います。まず、短期大学について、「学校教育法」には、「深く専門の学芸を教授研究し、職業又は実生活に必要な能力を育成することを主な目的とする」、「修業年限を二年又は三年とする」大学であると述べられ、また、「短期大学は、文部科学大臣の定めるところにより、短期大学を卒業した者に対し短期大

学士の学位を授与するものとする」と述べられています。短期大学も四年制大学と同じように、卒業した者に「学位」が授与される学位課程であるということですが、この点が、修業年限は同じでも学位は授与されず、称号が授与される専門学校と決定的に違うところです。

では、どのような学生に対して卒業を認定し、「短期大学士」の学位を授与するのか。それが「ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)」と言われるもので、短期大学の教育の根幹を表現し、それぞれの短期大学の特色を示すものなのです。

皆さんも、今一度本学の「ディプロマ・ポリシー」を、『学生便覧』や本学のホームページをとおして確認していただきたいと思いますが、ここでも主要な部分を挙げておきたいと思えます。次のように記しています。

「本学に二年以上在学し、本学の『建学の精神』『教育の理念』『教育の目的』に基づいて設定した授業科目を履修し、各学科が規定する必要単位を修得した学生は、次の到達目標に達した人材であると認定し、『短期大学士』の学位を授与します」

そして、到達目標を、学科共通の目標と、学科それぞれの目

標に分けて示しています。紙面の関係で、両学科共通の到達目標のみ挙げておきたいと思えます。

- ・あらゆるいのちの尊厳にうなずき、「やわらか心」涵養の意義について深い理解に至っているとともに、それに基づく人生観・価値観が身につけていること。

- ・授業科目の学修や諸行事への参加等、学生生活全般をとおして、倫理性・社会性や責任感・使命感を培い、コミュニケーション能力を身につけて、地域社会が求める社会人としての基礎能力を身につけていること。

- ・専門科目の学修をとおして、各学科が養成する職業人としての専門知識や技術・技能を修得し、自立して地域社会に貢献できる十分な能力を身につけていること。

そして、目標到達を目指して設定されているのがカリキュラムで、皆さんが受けている授業なのです。少々かたい内容になりましたが、本学が目指している教育を理解し、それぞれの目標に向けて主体的な学修を心がけてください。間もなくできる「ラーニング・コモンズ」も、皆さんの主体的な学修を支援するものです。大いに活用してください。

目次

学長のことば	1
トピックス	2
学科紹介	
・子ども学科	3
・キャリアア育成学科	
・オフィスワークコース	4
・介護福祉コース	5
学生生活・学生生活支援	
・学生自治会、新入生宿泊研修	6
・キャリア支援センター、図書館、保健室、カウンセリング室	7
教育研究施設等	
・仏教教育研究センター	8
・ラーニング・コモンズ	8
・育児文化研究センター	9
・教員免許状更新講習	9
人事・同窓会近況	10
卒業生メッセージ、公告	11
就職状況、編集後記	12

トピックス

学科の統合について

— キャリア育成学科
スタート —

キャリア育成学科長

鷲尾 敦

平成二十五年四月より、キャリア育成学科がスタートしました。従来のオフィス人材育成学科と人間介護福祉学科が統合され、オフィスワークコースと介護福祉コースの二つの専門コースからなる学科です。オフィスワークコースは、オフィス、ビジネス、会計、情報という専門領域を持ったビジネス実務を専門とするコースであり、地域の企業や病院、会計事務所等のオフィスで活躍する人材の育成を目指します。介護福祉コースは、介護福祉士を養成し、地域の福祉に貢献できる人材の育成を目指しています。

専門が全く違う二つのコースがどうして一つの学科になったのか、疑問に思われる方も多いと思います。その鍵は両コースの共通の教育にあります。

キャリア育成学科では、まず将来のキャリアを描くことから

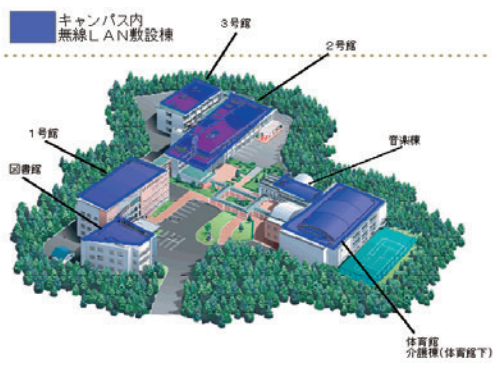
始まります。働くということは、自分の人生において大変大きな影響を与えるものです。結婚や出産など、将来様々なライフイベントがある中で、目標が明確な学生も、そうでない学生も働き方を描くことは大変大切なことだと思います。本学科では、キャリアデザインを描く力を養成します。そして、描いたキャリアを実現する力を養成します。その力には二つあります。

一つは、各コースで培われる専門能力です。オフィスワークコースではビジネス実務能力であり、介護福祉コースでは介護福祉士としての能力です。もう一つは、どのような職場であっても、どのような職種に就いても必要な汎用的な能力です。私たちは、その能力を良好な人間関係を築くためのヒューマンスキルと、多様な人々と一緒に仕事をするための社会人基礎力と考えました。これは、両コース共通の教育カリキュラムの中で育成します。

キャリアデザインを描き、専門能力と汎用的な能力を持って「あなたでなければ」と言われるような、地域や職場で求められる人材の育成を教員一同、一丸となって努めてまいります。今後の学科の教育に、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

無線LANの敷設
整備・充電ポイント
の設置について

学生へのノートPC貸与(平成二十五年年度より)、スマートフォンやモバイル端末等の普及に伴い、学内においてストレスのない安定したネットワーク環境を実現する為、学内インフラ設備の充実(無線LANの敷設整備、充電ポイントの設置等)を行い、教育環境の向上、教職員と学生とのコミュニケーションの強化を図っています。



高大教育交流への
取り組み

入試広報課長 浅尾 正男
平成四年度三千四百(十三・二%)、平成十四年度千六百七十七(八・三%)、平成二十四年度九百二十八(五・八%)
右の数字は三重県内の高等学校卒業生のうち短期大学に進学した生徒数であり、()内の数字は高等学校卒業生数に占める短大進学者数の割合です。
大学全人時代到来により、ここ十年間県内高卒者の大学進学者数は七千五百人前後で推移しているのに対し、短期大学進学者数は毎年五十人前後確実に減少しており、本学を取り巻く状況は年々厳しくなっています。そのような状況の中で、ほぼ全ての学生が県内で就職する本学の存在価値を改めて高等学校に認識していただき、キャリア形成を目標に高等学校と教育交流に取り組みました。
平成二十四年度に五校と、平成二十五年年度五月に二校と協定を結ぶ予定となっています。まだスタートラインに立った段階ではありませんが、GIVE & TAKEではなく、GIVE & GIVEの気構えで取り組み、本学から三重の地に優れた人材を輩出しつづけることを念じます。

プレオープンキャンパス
「高短フェア」

入試広報委員長 杉浦 礼子
平成二十五年三月二十三日(土)に、第一回目となるプレオープンキャンパス「高短フェア」を開催し、大勢の方にご参加いただきました。高短フェアはこの春に高校三年生および二年生になった生徒の皆さんおよび保護者の方を対象に企画・実施しました。
当日は、教職員のほか在学生が中心となり、本学の説明、学科コース別の体験ブースなどを運営

者数は毎年五十人前後確実に減少しており、本学を取り巻く状況は年々厳しくなっています。そのような状況の中で、ほぼ全ての学生が県内で就職する本学の存在価値を改めて高等学校に認識していただき、キャリア形成を目標に高等学校と教育交流に取り組みました。
平成二十四年度に五校と、平成二十五年年度五月に二校と協定を結ぶ予定となっています。まだスタートラインに立った段階ではありませんが、GIVE & TAKEではなく、GIVE & GIVEの気構えで取り組み、本学から三重の地に優れた人材を輩出しつづけることを念じます。

しました。時折、参加者の方の笑い声が響き渡る場面があるなど盛況のうちに終わりました。
フェアに参加し体感したこと
で、「高田短期大学って、どんな大学?」、「どんなことを学ぶの?」、「どんな雰囲気なの?」などの疑問を解決いただけたのではないのでしょうか。
来春も高短フェアは開催予定です。また、六月十五日(土)、七月二十一日(日)には、オープンキャンパスを開催いたしますので、高田短期大学への入学を検討しておられる方にご案内くださいますようお願いいたします。



学生と山崎学科長の対談から
子ども学科の「夢と笑いと学び
の場」について探ってみました。



【写真左から】山崎征子学科長、長崎麻末香さん(1年)、山田彩乃さん(2年)、山下夏季さん(2年)

—入学後一ヶ月経った感想は？
長崎「やっぱり九十分授業は長く感じます。ただ、高校と違って好きなことを学んでいるので、苦痛は楽しくですね。」
山田「確かにこの一年はあつという間でしたね。二年生は実習や就職などがあるので、今やりたいと思ったことをやっておいの方が絶対いいですよ。」
山下「就職活動が始まって、短大生活も折り返し地点だと実感しています。日々忙しいですが、とても充実していますね。」

—一年間を振り返って、一番思い出に残っていることは？

山田「やはり学祭かな。特にゼミの先輩とのかわりが一番楽しかったです。先輩は色々な経験をしているので一緒にいるだけで見て学ぶことが多いです。」
長崎「私もゼミが一番楽しい。」
山崎「そうですね。ここ数年の中で、ゼミナールは子ども学科の特色です。異学年の交流はやはり学びが大きいし、実習や就職で保育現場に出た時も先輩・後輩のつながりが生まれます。」
山田「ゼミの先輩とはプライベートでも相談に乗ってもらったり、ご飯を食べたりしていますよ。」
山崎「コミュニケーションが取りにくい今の時代こそ、机上の勉強だけでなく社会の中で生きていくノウハウを学ぶ必要があられますね。知識を知恵に変えていく力を培ってほしいと思います。」
山下「私も東北ボランティアや食育応援隊に参加して、視野が広がった感じがしています。何事も触れて感じて経験すると、改めて理解することがありますね。ボランティア活動は積極的にしておくといいと思いますよ。」
—逆に、一年生の時にもっとやっておけば良かったことは？
山下「夏休みに、手作り教材をもっと作れば良かったなあ。」
長崎「実習で使うんですか？」

山田「私は使いました。実習前は鏡や家族の前で練習したけれど、やはり現場は違う。子どもから学ぶことって本当に多いですね。あと、ピアノもやっておくほうがいいかな？」

長崎「私も今習っていますが、子どもの前で弾ける心配で。」
山田「空き時間は個人レッスン室がすぐにいっぱいになって、よく取り合いになっています。」
山下「でも、ピアノはやればやるほど結果がついてきて、とてもやりがいがあるよね！」
山崎「基礎技術は、授業外の予習復習が欠かせないですね。熱心さと積み上げが最も大切です。」
—学科長からのメッセージ
山崎「普段の大学生活は、メリハリをつけながら、大いに楽しんでほしいし、今しかできない若さあふれる経験もしてほしいと思います。それと同時に、保育者というのは人間的な常識がしっかりしていると、子どもだけでなく保護者や先生方の信頼が得られるようになります。挨拶や身だしなみなども含めて「人としての信頼感」が備わること、そのことに意識を向けてほしいと考えています。あとは、実習でも就職でも、自信をもって前に進んでほしいと思います。そして夢を叶えてほしいと思っています。」

子ども学科に入学して

子ども学科一年



黒田 千華
高田短期大学
に入学して、一ヶ月が経とうとしています。授業

や通学の時間が伸びたり課題が増えたりと、高校生の時とは違うことが多く、最初は不安でした。しかし、友達と助け合い、励まし合う中で、最近は大学が楽しくとても充実しています。



劈かれたからだ

柳瀬 慶子

ある担当授業の一コマである。受講者が一列になり、後ろの人の腹部に自分の頭をのせて仰向けに寝るといふ活動がある。身体は後ろに倒れるが、頭だけが倒れない。この「からだ」は、何を物語っているのだろうか。

近年、子どもの体力低下が叫ばれている。「体力」とは筋力など物質的な身体力だけではなく、心身を一体とした「からだ(身・心)の力」である。他者とかかわる力、状況に対応する即興力も含まれる。今、教育・保育の現場で、この他者と

今、自分は保育者になるのだという自覚が日に日に大きくなっています。立派な保育者になれるのか心配ですが、それ以上にこれから何を学び、実習でどんな子どもたちと出会うのかとてもワクワクしています。私は音楽が好きなので、ピアノもたくさん弾けるように練習しながら、子どもに歌の楽しさを伝えられる保育者を目指して、日々過ごしていきたいです。

かわる力、即興力の育成が重要になってきている。集団に馴染めない子ども、不登校、いじめなど、その根本には他者関係の希薄さやより良い関係構築ができないという問題がある。他者からだに触れる機会が減少している昨今であるが、からだを介してかわり、他者の行動(状況)に応じて自分の行動を即興的に変化させる、他者に「劈かれたからだ」は、生きていく上で欠かせないものである。

冒頭のエピソードに戻ろう。人間の身体の中で最も大切な頭が倒れないという事は、他者を信用して自分を預けられない、他者に「閉じられたからだ」が表現されている。子どものからだ育ての前に、保育者自身が「劈かれたからだ」でありたい。

キャリア 育成学科 オフィスワークコース



組織変更により、オフィス人材育成学科の教育が、キャリア育成学科のオフィスワークコースに引き継がれます。本コースでは、「あなたでなければ」と言われるような人材育成を目標とし、キャリアデザインを描く力とヒューマンスキル、社会人基礎力、ビジネス実務能力を育てます。今回は、オフィス人材育成学科の二年生とオフィスワークコースの一年生に、本学科コースでの学生生活について話していただきました。



【写真左から】河島菜月さん(1年)、星野愛美さん(1年)、鷺尾オフィスワークコース長、田中沙希さん(2年)、中尾綾香さん(2年)

鷺尾「田中さん、中尾さん、オフィスで学んだ一年間はいかがでしたか？」

田中「情報処理に興味があったことと、より実務的な専門スキルを学びたいと思いオフィスを目指しました。ワープロ、表計算、Webデザインなど、さらに深く学ぶことができて良かったと思います。」

中尾「私は公務員を目指していますが、資格を取るだけでなく実務能力が身につく科目が多く今後役に立つと感じています。」

鷺尾「河島さん、星野さんは、なぜオフィスワークコースを選びましたか？」

河島「オフィスレディとして地元で就職したいという希望があったからです。オフィスワークコースは就職率が高いのも魅力の一つでした。」

星野「私は人と関わる仕事をしたいと漠然と思っていたのですが、高校の先生から、オフィスワークコースなら資格も取れ様々な業種へ就職ができると勧められたからです。」

鷺尾「そうですね。本学科では将来を見つめるキャリア教育に力をいれています。先輩から何かアドバイスはありますか？」

中尾「部活動への参加を勧めます。今就活中ですが、面接で部活動について必ず聞かれます。課外活動は大きなアピールポイントです。自治会の活動も短大生活が有意義に過ごせますよ。」

田中「社会体験実習への参加もお勧め。私はホテルで仕事をさせていただきました。事務職ではない業種を経験したことが、私の職業観に大きな影響を与え

ました。就活の心構えにも変化がありました。」

河島「ところで先輩はどのような資格を取得しましたか？」

中尾「私はワープロ検定の準1級、表計算1級、秘書検定2級、簿記3級を取得し、オフィスマスターの称号も取得しました。」

田中「私もワープロ、表計算簿記を取得し、優秀賞を受賞しました。次は表計算初段や簿記2級を目指しています。」

鷺尾「オフィスワークコースでは難易度の高い資格や多くの検定に合格した学生を表彰するスキルアワードという制度があり、多くの授業で資格取得を支援しています。」

星野「私は、秘書検定、サービスマスター検定の上級を取得したいと思っています。しかし、今まで検定を受けた経験がないのでとても不安です。」

田中「科目担当の先生が丁寧に指導してくるので、心配はいりません。」

中尾「短大が会場になっている検定も多いので、リラックスして受験できるのは有利ですよ。」

河島「自信が湧いてきました。実はファイナンシャルプランニング技能士も狙っています。」

星野「私は医療事務の資格も取りたいと思っています。」

鷺尾「学生生活を充実させる上で先輩に聞きたいことはありますか？」

動もして勉強と両立したいのですが、どうしたら先輩方のようになれるでしょうか？」

田中「誰もが最初は不安に思いますが、まずは行動すること。」

中尾「そう、活動するって結構楽しいですよ。」

田中「前期の基礎的な授業で勉強の方法を身につけ、後期に掘り下げる勉強をすることが大切です。」

中尾「前期だけで気を緩めないことも大事だと思います。」

鷺尾「先輩から話を聞いて、今後どのような学生生活を送りたいですか？」

河島「アルバイトと学業の両立



能動的フォロワーシップ

川喜田 多佳子

私の授業では「ITのリーダーを目指す」を目標にしています。「リーダーシップ」というと、リーダー自身の資質、能力の有無といった側面に偏って考える傾向があるように思えます。

リーダーシップ研究者であるクーゼスとポスターによると、リーダーシップの基準は「振り向けば、喜んでついてくるフォロワーがいることである」と答えています。「フォロワー」と聞いて「受動的な人物である」という暗黙の仮定が潜んでいる

をしながら卒業まで資格取得に挑戦し続けたいと思いました。これが大変なこともあると思いますが、流されず、頑張り通したいという気持ちが強くなりました。」

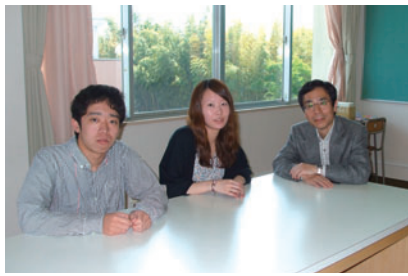
星野「先輩方が明るく充実している姿を見て、私もこれからが楽しみになってきました。オンラインで語学研修に参加する予定ですが、自分の人生の中で良い思い出となる二年間のイメージが膨らんできました。」

鷺尾「私たち教員も全力でサポートします。充実した学生生活を本コースで送ってください。」

ように思えますが、フォロワーの信頼性なしにリーダーシップは存在しません。コミュニケーションの効率・利益を上げるためのフォロワーシップとはどのようなものでしょうか。

経営学者ハイフェッツによると、「リーダーがあげるビジョンの輪に加わり、示した「絵」が間違っていたり論理的に問題があった場合、時にリーダーとなり意見し、その上でビジョンについて行こうとする姿勢、すなわち「能動的フォロワーシップ」が重要である」と答えています。能動的フォロワーシップが強化されれば、リーダーの上方影響力（リーダーが上司に対して有する発言力の大きさ）も強化され、最終的にはリーダーシップが強化されるのではないのでしょうか。

キャリア 育成学科 介護福祉コース



【写真左から】
辰野泰千さん(1年)、村井千紘さん(2年)、千草介護福祉コース長

司会 入学後、一ヶ月余りが経過しましたが、本学での生活には慣れてきましたか。一年生の辰野君からは、介護福祉コースを志望した動機と短大生活で感じたことについて話してください。

辰野 高田短大を希望した動機は、何度かオープンキャンパスやボランティア等に参加してふれ合いを感じました。また、家庭の事情として祖父が病気で介護が必要です。家族は仕事や学校などがあって忙しく、その介護に母親が苦勞しているのを目にするたびに、自分にも介護や技術を身につけて何か手助けが

できないかと思いました。短大生活ではまだ始まったばかりなのですが、「心と身体(医学)」など、高度な専門科目なので少し大変な面があります。他の科目でも広く深く学習するので、これから頑張つて勉強していかなければと思っています。

司会 二年生の村井さんからは、一年間の短大生活を振り返つて、後輩の学生に伝えたいことを話してください。

村井 家を離れ下宿生活をしていきますので、入学当初は毎日、さみしい思いで過ごしてきましたが、私のことを気遣つてくれる多くの友達が出てきて、楽しく短大生活が過ごせるようになってきました。一年間授業を受けてみて、介護福祉の学習についても、人との関わり方についても深みを感じています。高校でも介護体験をしましたでしたが、介護知識が十分でなかったこともあり、介護実習では多くのことを気づかされました。

短大生活では四月下旬に実施された新入生宿泊研修が大変楽しい思い出として残っています。親元を離れ誰も知らないの、困っていました。宿泊研修で友達や先生と関わって、いろいろなことを知ることができ、よい行事でした。さらにオープンキャンパスで催し物を学生自身が企画し、実施しなければならぬので、またその準備や練習にと大変でしたが、これも友

達と一致協力するなどして、終わった後などは達成感が感じられました。

辰野 オープンキャンパスに参加して、先輩の学生の皆さんが一致協力し、楽しく行事を進行させていました。また気軽に話しかけてくれ、進路について迷っていた時にいろいろなアドバイスをいただけました。

千草 一年間、介護福祉の学習をしてきましたが、介護に対する現在の気持ちはどうですか。

村井 実習ではとても大変でした。見たり聞いたりするのは簡単なように思いますが、実際利用者として接してみようと思えばいいのかなと迷うことが度々あり、技術や知識が十分でない私にとって大変な思いをしました。でも、職員の方に褒められたり、利用者から「ありがとう」という言葉を聞いて、気分的に「ほっこり」となりました。実習を経験するたびに、やっぱり介護をやってみたい気持ちが、より一層高まってきました。

辰野 先輩の話聞いて早く実習をやってみたい気持ちになりました。今のところ実技に関する学習は進んでいないので、まだまだ知識や技術が身につけておらず、未熟なところがあるのですが、でも実習が待ち遠しくなってきました。

千草 平成二十五年より学科名称が変更になり、キャリア育成学科介護福祉コースになり

ました。キャリア関係のカリキュラムが新たに追加されたので、一年生には選択のできる教科数が増えましたが、介護福祉関係の科目については大きな変化はありません。しかし、平成二十六年入学生からは「医療的ケア」が新たに加わるようになります。さらに短期大学等の卒業生に対して介護福祉士国家試験が課せられることになり、より専門性が高まります。本学のように介護福祉関係の短大では単に資格取得のための教育だけが目的ではなく、専門性を高める介護研究が課せられています。

ですので、より学習に励んでほしいものです。

村井 学校での介護関係の科目だけでなく、専門的な技術や知識を身につけるためにもっと頑張つて学習に励みたいと思っています。

辰野 私もまだまだ介護に関する知識・技術が十分でないので、実習でもめげないように広く深く学習したいと思っています。

司会 今後ともその思いを持続して、介護福祉の学習や、短大生活に生かしてください。



超高齢社会での

終末期ケアに向けて

福田 洋子

日本の少子高齢社会の進行の中で、人生の最後の時を迎える場所も変化し、今では自宅以外の場所での死亡が約八割であると報告されている。その多くは病院や施設などである。このような生活状況と終末期を取り巻く環境の変化に伴い、それを支えるケアの質が問われるようになった。高齢者の終末期は個人差があることを理解し、本人や家族の望むケアを実現していくことが重要となる。しかし一方では、介護保険における看取り

ケアに流され、高齢者の個別対応に戸惑いを感じたり、本人の死亡後もこれで良かったのかと悔いが残つたりしている介護職の現状もみえる。超高齢社会に向けて、人生の最後までその人らしく生きられるように、高齢者の生活を支え、その人の望む最後を迎えていただく。そのようなケアを提供できるようにするために、介護職の死の準備教育が重要となる。

死に対する恐怖や不安を完全に取り除くことはできないが、介護職の適切な終末期ケアにより緩和することは可能ではないだろうか。高齢者の希望する質の高い終末期ケアを支えるためにも、死の準備教育は重要で、介護福祉士養成校の学生から取り組まなければならない課題である。

学生自治会

こんにちは、私たちは学生自治会執行部の十二人です。

私たちの初めての活動は先輩方に企画していただき一緒に取り組んだ一月のTJJC祭です。参加してくれた学生は約百二十人で、冬の寒さを吹き飛ばすくらいの盛り上がりでもとてもいい思い出になりました。

四月には新入生ガイダンスの企画・進行をさせていただきました、これが先輩方が卒業されてから初めての本格的な活動になりました。

また、今年は新たな試みとして私たち自治会執行部の手助けをしてくれるサポーターメンバーを新入生から募集しました。これを機に学年間の交流を深めながら各行事を運営していきたいと思えます。

五月にはバーベキュー大会、そして十月には高田短大の一大イベントである大学祭があります。今年の大学祭は十月二十六日(土)と十月二十七日(日)に行われます。開催される曜日が休日ですのでたくさんの方に参加いただけたらと思っています。大学祭では、各方面からの意



見や要望を取り入れ短大全体で作りに上げていきたいと思えます。また、この大学祭をきっかけに地域の皆さんとのふれ合いや、学年間の交流をより一層深めていきたいと思えます。そして、皆さんと素敵な思い出を作りたいと思っています。

私たちも、まだまだ分からないことが多く、自治会執行部として皆さんと短大生活をよりよいものにしていけるよう精いっぱい努力したいと思えますので、ご指導の程よろしくお願いたします。

◎執行部の活動内容
 ↓年間業務の企画・予算
 ↓各行事の企画・実施
 ↓卒業アルバム編集

平成25年度 新入生宿泊研修

学務委員長 福西 朋子

毎年恒例の新入生宿泊研修(四月二十四日(水)、二十五日(木))が緑豊かなココパブリッククラブ白山ヴィレッジゴルフコースで行われました。入学式前から始まっていた新入生オリエンテーションを締めくくるとして、高短生としての自覚と仲間との協調性を養うこと、学生・教員相互の親睦を深めることを目的としています。一日目はあいにく雨天でしたが、学生さんが元気に参集し研修がスタートしました。学長の講話と研修諸連絡の開講式、学科研修やターゲットゴルフを実施しました。

【学科研修】

○子ども学科

一日目午前中は「すてきな保育者になるために」の活動として、保育現場で活用できる手遊びや運動遊びの中で仲間との交流を深めました。午後は雨天のためターゲットゴルフがDVD鑑賞とゼミ別対抗ゲームに変更に

なってしまうりましたが、大いに盛り上がりました。二日目には毎年恒例の「つくって・あそんで・みせて2013」を行いました。今年度の発表も少ない時間の中で振り付けと衣装に工夫を凝らし、教員も含めてよい関係づくりが出来たのではないのでしょうか。



○キャリア育成学科

「先生にインタビュ」をテーマにグループワークに取り組みました。事前に考えてきた学科教員についての質問を持ち寄り、グループごとにインタビュを行い全員の前で発表しました。普段話すことの少ない他コース学生とグループになり、始めは緊張している様子でしたが、徐々に打ち解け活発な話し合い



【ターゲットゴルフ大会】

心配していた雨も二日目は一転、ゴルフ日和。朝から清々しい気分です。キャリア育成学科はターゲットゴルフを楽しみました。ゼミ別対抗で教員もグループに加わり、一つのボールを交替で打つというルールのもと、賞品をかけて真剣にプレーをしました。メンバーのプレーに声援やアドバイスを行ったり、ホールインワンが出たグループからは大歓声が挙がったりと、和気あいあいの雰囲気で行われました。

その他、バイキング形式の美味しい夕食やコテージでの仲間との語らいもよい思い出になりました。

が行われました。

◆キャリア支援センター◆

キャリア支援とボランティア支援について

キャリア支援センターは二号館一階（学生玄関右手）にあります。企業や施設・園等の求人情報や過去の受験報告を調べるため、また履歴書・自己紹介書の添削や面接練習、その他就職相談を受けるために毎日多くの学生の皆さんにセンターを利用いただいています。

ところで、皆さんは職を探す時、何を先ず考えますか。自宅から通える範囲かどうか。給料や賞与（ボーナス）はどうか。厚生年金などの社会保険は完備されているか。育児休暇は取得できるか。土日は休日か。また年間休日日数は何日か。正規職員か臨時職員かなど、様々なことを求人票でチェックしなければなりません。求人票は高短キャンパスネットのキャリアカルテ・求人票検索から調べることができます。しかし、求人票に書かれている内容がきちんと理解できる人は意外と少ないように思います。センターには、ベテランの職員がいますので、どんなことでも遠慮せず質問してください。なお、今年度は子ども学科非常勤講師の稲田先生と水野先生にもキャリア支援センターに入らせていただきました。

仕事選びには自分の能力や適性を正しく把握することが重要です。適性や能力は今取り組んでいることを一所懸命やることで伸びます。勉学にもしっかりと励みましょう。

就職活動を通して皆さんの大人への成長を私達センター職員が感じることが多くあります。厳しい状況を乗り越えることにより人間的成長が促されることを改めて感じています。そのため、学科にもよりますが、早めに就職活動に入ってほしいと思います。

■ボランティア活動支援室は、ボランティア活動を通して学生時代でしか体験できない貴重な学びの機会を得るお手伝いをしています。場所はキャリア支援センターと保健室の間にあります。

情報は専用掲示板にて案内していますが、是非、ボランティア支援室を訪ねてきてください。



ボランティア掲示板を見る学生たち

図書館

図書館には、学科やコースに関する専門書だけではなく、気軽に読める雑誌など、たくさんの資料があります。課題・レポート作成、実習準備、資格取得対策、業界研究など、様々な場面で学生の皆さんに活用されています。また、絵本や紙芝居パソコンコーナー、雑誌・DVDコーナー、リラックスできるソファもあります。

話題になってくる本やお薦めの本を集めたコーナーは定期的に入れ替えを行っていますので、ぜひ時々足を運んでみてください。新たなアイデアの発見があるかもしれません。

○開館時間（授業日）

8時50分～17時30分（長期休暇期間中は16時30分まで）

○卒業生も利用できます。詳細はホームページをご覧ください。

*平成二十四年度から、ホームページで図書館の蔵書を検索できるようになりました。また、ブック・プロテクション・システム（持出確認装置）も設置しました。

保健室

保健室では、皆さんが学校で体調が悪くなったときやけがをしたときの応急処置をします。少し休養して授業に戻れるようにベッドやソファもあります。また、皆さんが自分のころや身体について知り、より健康になるためにはどうすればいいかを一緒に考えていきます。ころや身体のこと、気になる、学生生活のことで悩んでいることがあれば、保健室に来室してください。保健室で皆さんの話を得ずには誰かに伝えることは

カウンセリング室

なんだかかわからないけれど眠れない、苦しい、涙が出る、やる気がしない。そんな時はないでしょうか。みなさんはそんな時どうしていますか？私は誰かに話します。言葉にすることの大切さを知っているからです。例えそれが誰かの悪口になってもいい、愚痴であっていい、大切なのは誰かに話すことです。でも話した結果、自分のことを悪く思われたり、変に思われたりするのはないか、そんなふうに思ってしまうことを躊躇する人も多いようです。

しません。安心して相談してください。

保健室では、カウンセリングの予約も受け付けています。保健室から皆さんに知ってほしい情報は掲示したり、メールで発信します。自分の身体は自分で守るために、皆さん一人ひとりが、情報を確認して行動してください。



保健室直通
Tel.059-253-7031

安心してください！カウンセリング室で話したことは外には洩れませんし、話した内容を批判されることもありません。時間は50分ですが、「少しだけ話したい」というのでも構いません。保護者、卒業二年以内の方や教職員も利用できます。予約制ですので、保健室か直接担当者に予約してください。保健室で名乗りたくなければ名乗らなくても大丈夫です。とにかく、安心して予約を入れてみてください。案内のパンフレットはカウンセリング室の前に置いてありますからご覧ください。

仏教教育研究センター

センター長 金信 昌樹

○仏教基礎講座

仏教教育研究センターと改称し、一年がたちました。昨年は、地域の方々の生涯学習や、高田派の僧侶の育成に資することを目的に、高田本山寄附講座として仏教基礎講座を開講しました。仏教学、真宗学、仏教史、真宗史、高田の歴史と法宝物の五科目の講座を五日間にわたって開講し、多くの受講者が聴講に來られました。

今年度の仏教基礎講座は、八月十九日(月)から二十三日(金)までの五日間開催します。聴講は無料です。受講を希望される方は、事前に申し込んでいただく必要があります。

○仏教専門講座

今年度から、仏教基礎講座と同じく高田本山寄附講座として仏教専門講座を開講することになり、四月から開講しています。仏教基礎講座が仏教と真宗の教えと歴史などの基礎的なことを学ぶのに対して、仏教専門講座は仏教経典などをテキストとして、より専門的な知識を学ぶことができます。

また、仏教専門講座は、文部科学省の履修証明制度に則つ

た履修証明プログラムとして開講します。履修証明プログラムとは、大学などの教育・研究資源を生かし一定の教育計画の下に編成された体系的な知識、技術の習得を目指した教育プログラムで、主に社会人の方に学習機会を提供し、その学習成果として学校教育法第一〇五条に基づいた履修証明書を発行するものです。この仏教専門講座では、全十科目を受講し全科目の試験に合格した方に履修証明書を発行し、特定の科目について受講し試験に合格した方には受講証明書を発行します。

今年度の仏教専門講座では、全十科目の内、次の五科目を開講します。

- 仏教学概説(新 研究員)
 - 仏教学講読Ⅰ(安藤研究員)
 - 真宗学講読Ⅰ(松山主任研究員)
 - 真宗学講読Ⅲ(佐波研究員)
 - 高田の宗風(藤田研究員)
 - 残りの五科目(仏教学講読Ⅱ、真宗学概説、真宗学講読Ⅱ、真宗学講読Ⅳ、真宗史講読)については、平成二十六年度に開講します。
- 講義は、毎月一回(八月・三月を除く)五科目の講座を、本学の授業時間に合わせて行いますが、本年度の受講受付は終了しています。



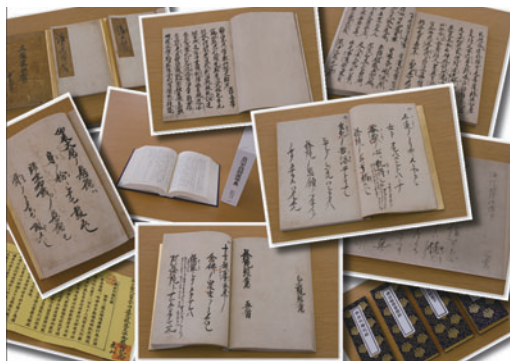
○公開講座

今年度の公開講座は次の日程で行います。

- ・第一回講座
十月二十四日(木) 十三時
三十分～十五時三十分
講師 清水谷正尊研究員
講題「善導独明仏正意―善導独り仏の正意を明らかにせり―」
 - ・第二回講座
十一月十八日(月) 十三時
三十分～十五時三十分
講師 松山智道主任研究員
講題「親鸞聖人のお手紙と二河白道」
- 会場は、高田本山専修寺宗務院二階第一会議室です。聴講は無料です。

現在、当センターでは、高田派中興の祖と仰がれる専修寺第十世真慧上人の著『顕正流義鈔』を中心とした研究会を行い、総合的な学術書の出版に向けて鋭意活動を行っています。

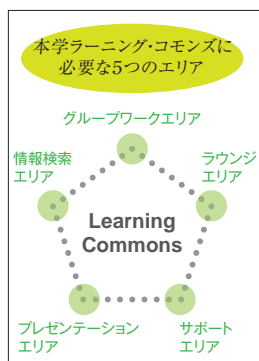
また、当センターが所蔵する智慧光院旧蔵の寄贈書籍の所在・登録の再確認と調書を作成し、料紙・綴じ糸破損等箇所に対する補修作業を行っています。いずれは寄贈図書目録を作成できるように図りたいと思っております。



ラーニング・commons

図書館長 三宅 啓子

平成二十五年度から、高田短期大学付属図書館一階をラーニング・commons体制が全面的に可動するように、現在、改築準備中です。昨年度に、図書館の活用方法(学習・学びの推進)を検討する中で、多様な学習スタイルに対応するために、多様な情報資源や設備を総合的に提供する「ラーニング・commons」構想が検討されました。そして、本年度から「アカデミック・サポートセンター」としての役割を担う空間づくりの計画に基づき、人的な「学習支援要員(ITコンシェルジュ)も配置され、新しい図書館に生まれ変わります。図書館が学生の主体的な「学びの場」となるように、学習支援体制を整える本学の取り組み事業です。学生の皆さんが積極的に利用することで、自身の感性磨き・学習意欲と自己実現への学習の場としてほしいものです。



育児文化研究センター

センター長 宮崎 つた子
 ○地域と共に歩んできた育児文化研究センター

高田短期大学育児文化研究センターは、三重の子育てを考え、三重の子育て環境に貢献することを目指した地域開放・地域連携の大学付属機関として、地域と共にゆっくりですが歩んできました。子どもの教育や福祉、子育て問題、児童福祉文化に関する様々な取り組みの実践をするセンターとして関わっています。特に、平成二十二年度からは、津市次世代育成支援後期行動計画関連事業の一環として、津市の「子育て・子育て支援会議」等に参画し、地域と連携をして子育て支援事業も担っています。地域の活動に参画することで新た



なネットワークが広がり、学生にとっても貴重な活動の場となっています。



そして、平成二十三年度から地域の子育ち・子育て支援に寄与するために、本学施設の育児文化室で開設した「おやこひろばたかたん」も三年目を迎えました。昨年は、親子がより安心して交流・活動がもてる広場をめざして、リスク管理の研修会や環境の見直しを行いました。



○今年度の主な取り組み

昨年度から構成メンバーに学外運営委員が加わり、関係機関の立場から評価をいただき事業展開を行っております。

基本方針は、従来の事業や教育の充実を図りながら、育児文化研究と地域貢献および地域連携活動を中心に左記の事業を行ってまいります。

◇開放事業◇
 「おやこひろばたかたん」親子の交流・活動、子育て講座や子育て相談などを行っています。



開催曜日は基本的に月曜日と木曜日です。また、限られた日程ですが、昨年度からはじまった休日のひろば開放は、父親の育児参加の機会にもなっています。

◇研究活動◇
 育児文化研究紀要の発刊、年三回の定例研究会の開催、グループ研究などで研究員による研究活動が行われています。

◇学生支援事業◇
 学生の学びにつながる活動をボランティア室と連携して子育て支援関連行事や活動をサポートしています。



◇地域連携子育て支援事業◇
 津市や三重県の子育て支援会議に参加し、地域と「子育て・子育て支援」に関する地域啓発事業を行っております。昨年度から具体的な活動となった津市内の広場関係者との交流会や子育て支援者・保護者向けの研修会も企画しています。

◇他の事業◇
 通例のセンター会議等の開催、センター日より「いくぶん」や「高田短期大学育児文化研究」の発行、子育て情報誌掲載なども行います。今年度も今までの取り組みを基盤に、地域の皆様と連携して、さらなる活動の充実を図っていきたくと思っています。

今後とも、ご支援ご協力をお願い申し上げます。

教員免許状更新講習

子ども学科 三宅啓子

平成十九年の改正教育職員免許法の成立により、平成二十一年四月から教員免許更新制が導入され、本学では、平成二十四年度から開設しています。免許状更新講習を三〇時間以上受講し修了する必要があります。三〇時間のうち「教育の最新事情などの必修領域」十二時間以上「教科指導・生徒指導などの選択領域」十八時間以上受講し修了することになります。高田短期大学では文部科学省の認定を受けて、幼稚園教諭免許状を所持している教諭を対象に選択領域十八時間を開設しています。平成二十五年度も開設します。

〔開催日・講習名・講師〕

- *十一月四日「幼児教育と保育指導法」講師・山崎・寶來
 - *十一月十日「子どもの健康と食育」講師・宮崎・鷺見
 - *十一月十七日「子どもの教育方法」講師・三宅・柳瀬
- 本年度は定員四〇名、仮申し込み受付は九月三日からです。詳細は本学ホームページをご覧の上、奮ってご応募ください。

着任のみなさん



出会いと希望の四月から
子ども学科
河崎 道夫

二間に開いた研究室の大きな窓。真ん前に大椋や桜の枝。ヤマガラの挨拶に心躍ります。キャンパスから東に出た森のそばにはワラビやつくし、セリが見つかりワクワクします。自然に癒され、可能性に満ちた若い学生たちの声に励まされ、がんばっていきたいと思います。



キャリア形成の一步を
キャリア育成学科
岡田 一範

四月よりキャリア育成学科オフィスワークコースにて、キャリアデザイン、流通論等を担当させていただくことになりました。学生の皆さんと真正面に向き合い、生涯にわたるキャリア形成の一步を共に考えていければと思います。よろしくお願いたします。



着任にあたり
学生相談室
富永 礼子

四月より学生相談室(保健室)で、皆さまの健康管理に携わらせていただくことになりました。

皆さまがこころも身体もより健康に学生生活を送れるよう、微力ながらお役に立てるように努めていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いたします。



着任にあたって
総務課
大川 翔平

今年四月から総務課でお世話になることとなりました。社会人として働くことが初めての経験ですので、日々の仕事の中学ぶことが多いです。少しでも皆さんのお役に立てるよう頑張りたいと思えます。どうぞよろしくお願いたします。



コミュニケーションを
大切に
キャリアサポーター
稲田 直子

四月より子ども学科で「保育内容ー表現」と育児文化研究セ

ンター、キャリア支援を担当させていただきます。学生さんとコミュニケーションをしっかりとりながら、自分自身が幼稚園現場で学んだことを、伝えたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。



新しい環境で
第二のスタート
キャリアサポーター
水野 潤子

卒業し、四十年後に高田に帰ってきました。学校は大きく変わり、驚くばかりです。保育士は子どもの心の代弁者であることと、心身共に健康で子どもと接することが大切です。また子どもに命を守る方法を伝え、心の支えとなる事について等保育相談支援の授業で伝えていきます。



着任にあたって
キャリアサポーター
大久保 孝

本年一月よりキャリア支援センターにて学生の皆さんの就職支援、企業求人開拓を担当しております。今までの職歴の経験を活かして学生の皆さんが笑顔で卒業で

きるよう微力ながらお役に立ちたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。



社会人への第一歩
キャリアサポーター
高橋 孝範

四月よりキャリア支援センターで、求人企業の開拓と就職の支援を担当させていただきます。津市の南地区の企業を担当します。皆さんが社会人として踏み出す第一歩に満足が得られるように、微力ながら支援をして行きたいと思えます。

《平成24年度 退職者》

オアシス入替慶喜整	高木 直人
子ども学科助教	北川 剛司
学長補佐兼入試広報課長	鼎 龍教
教学部学生課学生相談室	保健担当 森 ふみ子
キャリア支援センター	キャリアサポーター長 松下 正治
キャリア支援センター	キャリアサポーター 今西 秋穂
キャリアサポーター	事務嘱託 川村 みや子

同窓会の近況

北端 一子

週末の新聞から数独を探してチャレンジした事が最初で、今では、出来た時の喜びが増して、数独の本を購入してチャレンジしております。一から九までの数字を入れるのですが、なかなか難しい。初級からスタートですが、段々上がっていくと難しくなってきました。でも、出来た時の喜びは、本当に嬉しいものです。「熱心やなあ」と言われますが、いろいろな角度から考えないと解けないので、一つの問題に、やり直しが時々あります。でも楽しいです。

さて同窓会短大会理事が毎年数名加入し、人数も一五〇名を超えました。理事が全員集まる機会はありませんが、各学年の同窓会の担当をさせていただいています。年度初めに、各理事に短大会の活動報告や助成金について案内しております。毎年数件助成金の申請があります。理事の方、同窓会をする予定がありましたら、忘れずに申請して下さい。金額は多くありませんが、助かるのではないのでしょうか？待っています。

卒業生からの メッセージ

- ①勤務先
- ②就職して嬉しかったこと、辛かったこと
- ③将来の夢
- ④高田短大とは
- ⑤後輩へのメッセージ

保育士として働き始めて

子ども学科平成24年度卒

坂下 真央



一人の保育士として子どもを成長を見守り、援助していただけることに喜びを感じています。しかし、まだまだ未熟な為、上手くいかない事も多く、毎日が勉強であると感じます。③先輩から教えていただいた事を自分の保育に活かし、子どもにも保護者にも信頼される保育士になることです。また「あなたが必要」と思っていただけのような保育士になれるよう日々成長していきたいです。④同じ夢を持った素敵な仲間に出会い、共に成長し子どもの頃からの夢を実現できた大切な場所です。真剣に私の話を聞き相談ののって下さる優しい先生方にも支えられ、自分らしく過ごせる場所です。⑤自分の夢に向かって

突き進み、今を楽しんで下さい。辛い事や苦しい事があっても自分に負けず、自分の信じた道を歩み、「今日以上の明日」を過ごして下さい。

社会人になって

人間介護福祉学科平成24年度卒

林 亜美

①住宅型有料老人ホーム安心
②嬉しかったことは、職員の皆さんに温かく迎えて頂き、とても良い環境の中で仕事ができることです。丁寧な指導を受けて一人です仕事をごこなせる様になった時は嬉しかったです。利用者さんへの支援内容はそれぞれ違うので、それを覚えるのは大変ですが、利用者さんに心地よく生活して頂けるように、一生懸命支援させて頂きたいと思っております。③利用者さんとの関わりを大切にして、信頼される介護福祉士になることです。これからはたくさん経験を積んで、利用者さんが安心して生活を送れるような支援を提供できるように成長していきたいです。④高田短期大学は、同じ夢を持った素敵な仲間に出会えた場所です。また、先生方と学生の距離も近く、気軽に話すことができる温かい場所でした。⑤二年という時間を大切に、よく学び、よく遊んでください。授業や実習で学んだことは、働く時にとっても活かされると思うので、頑張ってください。

実際に働き始めて感じた事

オフィス人材育成学科
平成24年度卒

岡本 彩



①三重中央農業協同組合 ②嬉しかった事は、今まで以上にたくさんの方々と関わる機会がある事です。今まで、こんな経験はあまりなかったのが毎日が楽しいです。辛かった事は、課が人事です。でたさんの方々の名前と顔を覚えておくのは大変です。今とて何百人といいますが、少しでも名前を覚えてたいです。③地域の方々の事を第一に考え、生まれ育った地元で貢献できる職員になりたいです。④高田短期大学では、社会に出る時必要とされる事を学べます。学生の時に学んだワードやエクセルやビジネスマナーは、社会に出て実際に働いた時、とても役立ちます。先生方もとても熱心に指導して下さいます。私は高田短大での二年間、友達や先生に恵まれた。⑤二年間という短い期間ですが、たくさん勉強してたくさん遊んで下さい。今しかできない事を一杯楽しんで下さい。そして素敵な短大生活を送ってほしいです。

公告 平成24年度における学校法人高田学園の決算は次のとおりですので、当学園寄附行為第40条の規定に基づき公告いたします。

貸借対照表 (平成25年3月31日)

(単位：円)

資産の部				負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減	科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	(7,770,288,379)	(7,929,516,872)	(△159,228,493)	固定負債	(257,369,996)	(280,033,368)	(△22,663,372)
有形固定資産	(6,878,277,563)	(7,118,881,083)	(△240,603,520)	退職給与引当金	257,369,996	280,033,368	(△22,663,372)
土地	865,121,227	861,621,227	3,500,000	流動負債	(430,962,616)	(669,436,550)	(△238,473,934)
建物	4,810,510,751	5,015,844,145	△205,333,394	短期借入金	0	100,000,000	△100,000,000
構築物	833,415,415	866,626,016	△33,210,601	未払金	33,798,135	169,376,363	△135,578,228
教育研究用機器備品	119,646,963	127,617,678	△7,970,715	前受金	308,428,135	318,363,135	△9,935,000
その他の機器備品	7,452,551	7,888,776	△436,225	預り金	29,227,670	27,683,467	1,544,203
図書	212,111,178	209,363,763	2,747,415	修学旅行費預り金	56,358,676	50,095,585	6,263,091
車輛	100,000	0	100,000	卒業諸費預り金	3,150,000	3,918,000	△768,000
学苑林	29,919,478	29,919,478	0	負債の部合計	(688,332,612)	(949,469,918)	(△261,137,306)
その他の固定資産	(892,010,816)	(810,635,789)	(81,375,027)	基本金の部			
借地権	2,257,500	2,257,500	0	科目	本年度末	前年度末	増減
電話加入権	1,285,980	1,285,980	0	第1号 基本金	11,069,731,633	10,912,102,209	157,629,424
施設利用権	901,880	982,590	△80,710	第4号 基本金	181,000,000	150,000,000	31,000,000
有価証券	2,853,674	2,853,674	0	基本金の部合計	(11,250,731,633)	(11,062,102,209)	(188,629,424)
差入れ保証金	350,000	350,000	0	消費収支差額の部			
退職給与引当特定資産	261,008,500	261,008,500	0	科目	本年度末	前年度末	増減
施設設備拡充引当特定資産	491,480,000	332,750,000	158,730,000	翌年度繰越消費支出超過額	3,627,042,273	3,468,038,701	159,003,572
長期火災保険特定資産	112,478,340	205,126,720	△92,648,380	消費収支差額の部合計	(△3,627,042,273)	(△3,468,038,701)	(△159,003,572)
長期前払金	19,394,942	4,020,825	15,374,117	科目	本年度末	前年度末	増減
流動資産	(541,733,593)	(614,016,554)	(△72,282,961)	負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	(8,312,021,972)	(8,543,533,426)	(△231,511,454)
現金預金	309,278,095	347,400,449	△38,122,354				
未収入金	172,225,431	206,031,855	△33,806,424				
立替金	549,731	6,289,043	△5,739,312				
修学旅行費預り資産	56,358,676	50,095,585	6,263,091				
卒業諸費預り資産	3,150,000	3,918,000	△768,000				
前払金	171,660	281,622	△109,962				
資産の部合計	(8,312,021,972)	(8,543,533,426)	(△231,511,454)				

平成24年度卒業生 就職先等一覽

子ども学科

◆幼稚園(公立)

四日市市立桜幼稚園、四日市市立八郷中央幼稚園

◆幼稚園(私立)

あおい幼稚園、暁の星幼稚園、大川幼稚園、すずか幼稚園、第二さくら幼稚園、高田幼稚園、津田第一幼稚園、津幼稚園、ときわ幼稚園、羽津文化幼稚園、ふたば幼稚園、まつさか幼稚園、まるこ幼稚園、みずきが丘道伯幼稚園、めぐみの園幼稚園、ゆたか幼稚園

◆保育園(公立)

伊賀市立大山田保育園、伊勢市立浜郷保育所、伊勢市立二見浦保育園、伊勢市立ゆりかご園、いなべ市立笠間保育園、大台町立川添保育園、大台町立宮川保育園、津市立乙部保育園、津市立相愛保育園、鳥羽市立答志保育所、鳥羽市立船津保育所、松阪市立第一保育園、松阪市立西保育園、松阪市立花岡保育園、松阪市立三雲南保育園、松阪市立やまなみ保育園、四日市市立神前保育園、四日市市立橋北保育園、四日市市立日永中央保育園

◆保育園(私立)

あかつき保育園、あけの保育園、泉ヶ丘保育園、いずみ保育園、えがお志摩保育園、えがお保育園、尾鷲第二保育園、風の丘藤水保

育園、風の子藤水保育園、片田保育園、上浜保育園、神戸保育園、岸田保育園、くすのき保育園、久保保育園、公園西保育園、こどもの杜ゆたか園、さくら保育園、さつき保育園、塩浜保育園、庄内青い鳥保育園、昭和保育園、白塚愛児園、白鳩保育園、清泉愛育園、梅檀保育園、佐八保育園、第二石薬師保育園、第二長太の浦保育園、第二はなこま保育園、大安中央保育園、高岡ほうりん保育園、たけのこ保育園、長寿保育園、津愛児園、つくし保育園、鼓ヶ浦保育園、つぼみ保育園、どんぐり保育園、ながさわ保育園、長太の浦保育園、西浦保育園、花之木保育園、東大淀保育園、久居保育園、ひので保育園、ひまわり保育園、藤水保育園、ほうりん保育園、ほだじ保育園、松阪仏教愛護園、マリア保育園、三重愛育保育園、美里さつき保育園、みそら保育園、みらいの森ゆたか園、明和ゆたか保育園、山室山保育園、ローズ幼児園、わかすぎ第二保育園、わかすぎ保育園

人間介護福祉学科

◆老人福祉施設

いすゞ苑、エクセレントまつさか、かすみの里(特養)、亀山老人保健施設、くすのき園、瑞晃苑、双寿園、高田光寿園、ハートビルかわげ、パナソニックエイジフリーサービス津ヶアセンター、報徳園、万葉の里、やまゆりの里、有料老人ホーム安心、和事業所、多気彩幸、陽だまり長屋鈴鹿、Rクリエーション御伽草子伊勢

◆障害者支援施設

カザハヤ園、鈴鹿和順学園、聖マツテヤ心豊苑

◆四大進学

鈴鹿国際大学国際人間科学部国際学科、西武文理大学サービス経営学部サービス経営学科、同朋大学社会福祉学部社会福祉学科、日本福祉大学社会福祉学部社会福祉学科

オフィス人材育成学科

◆製造業 情報通信業

サイネットス、三鈴印刷、ジエイピーアイ、大享印刷、谷口石油精製、辻製油、白山電子工業、松本産業、丸和製作所、湊

◆運輸業

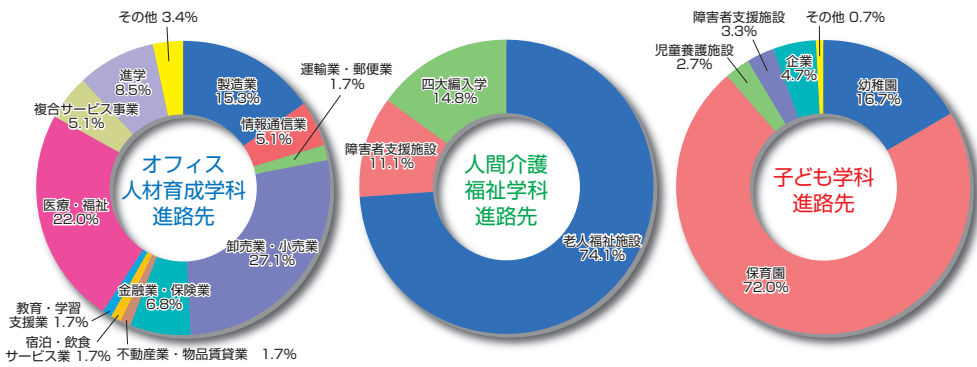
三共梱包

◆卸小売業

朝日ガスエナジー、イワタニ三重、キセキ、加藤金属興業、サマンサタバ

科、ドミニクドゥーセ

サシヤパンリミテッド、ホンダ四輪販売三重北、三協自動車工業、三洋自動車、中部企業、戸田医科器械店、ネットヨタノヴェル三重、三重いすゞ自動車、三重トヨタ自動車、三重三菱自動車販売



◆金融・保険業

百五銀行、百五ビジネスサービス、三重銀行

◆不動産 物品賃貸業

第一ビル

◆宿泊・飲食サービス業

ダイム

◆教育・学習支援業

◆医療・福祉

いとうデンタルクリニック、岩崎病院、宇治山田歯科医院、北原国際病院、上津デンタルクリニック、十全薬局、たかしクリニック、ときめ皮膚科クリニック、とら整形クリニック、松村ヒフ科、丸岡医院、ソラスト名古屋支社

◆サービス業

J A鈴鹿、J A三重中央

◆進学等

鈴鹿国際大学国際学科国際ビジネスコース、三重大学人文学部研究生、伊勢保健衛生専門学校

◆編集後記

皆様のご協力によりまして高田短期大学通信第48号発行の運びとなりました。今号は、「キャリアア育成学科スタート」、「高短フェア」等を掲載いたしました。今後ともご支援を賜りますようお願いいたします。

*「高田短期大学通信」の題字デザインは、学内募集および審査の結果、子ども学科二年 齊藤真美さんの作品が選ばれました。